



委員会レポート

文教厚生委員会

所管 教育・住民・健康福祉に
属する事項

文教厚生委員会は、今回の改選により、3人の新人を加えた7人で、新たな体制を組みました。
わが委員会は、主に福祉・医療・教育を中心に審議を行います。須恵町も色々な政策を行っています。各世代が生き生きと暮らす町づくりに大いに貢献していきたいと思っています。
各委員が見識を高め、町政と住民を繋げながら、フランスのとれた委員会活動をもって町民の期待に応えられるように、頑張っていきます。

委員長 三角栄重



6月27日(木)
第一学童保育所

第一学童保育所の現状調査

『須恵第一ビスケツクラブにおける待機児童解消に関する陳情』が5月28日に提出されました。6月議会において審議し、詳しく調査する必要があるため、継続審査としていました。6月27日に第一学童保育所・第一小学校(わくわくルーム・家庭科室)の視察を行い、陳情の内容(岩崎会長)、学童の現状(子ども教育課)について意見交換を行いました。

現状・今後の見直し

第一小学校の児童数は723人。学童入所数は75人で、4月時点で27人の待機児童がいます。第一小学校区の保育所入所(5歳児)は44人で、4歳児は53人。来年度・再来年度には、そのほとんどの園児が学童に入所を希望すると予想されます。

学校施設の活用は

待機児童解消に向け、行政は「学校内の利用できる教室等(家庭科室・わくわくルーム)を併用しながら運営をお願いしたい」と考えているようです。しかし、利用可能な2か所は、

- 1 調理室**
 - 調理台6台が固定され、移動できない。
 - テーブルの角など、走り回る子どもたちには危険な。
 - ガス・包丁などの器具、食器が多い。
 - 危険な物が多く、ケガが心配で安心できないなど保育所としては現実的ではない。
 - 2 わくわくルーム**
 - 授業や補習などがあり、4時以降でないと使用できない事がある。
 - 低学年は3時には帰ってくるので、日々保育場所が変わると混乱する(子ども・指導員)
 - 日常的に使用できないため、安定しない。
- ①②は、以上の理由で保育には向かないと思われます。

待機児童の解消に向けて

保育所視察の時間帯が、低学年の下校時刻と重なったので、「ただいま」とホッとした顔で帰ってくる子どもたちに、「おかえり」と声をかける指導員さんたちの姿を見て、この子どもたちにとって、この場所が安心できる第2の我が家なんだと感じました。



学童に利用するには危険な調理室